

# 夕刊 磐城時報

日一十  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
一部金貳圓 一月金卅圓  
廣告料一行十二字計五十五錢  
日刊(日曜除日)翌日休刊

## 二試合引分け

### 果然・熱闘を展開

#### 軍用機献納大會

## 球野陽磐の秋

球界秋の豪華版  
第十二回磐陽野球  
軍用機献納大會は  
秋晴れの十日午前  
八時半から磐球場で第一  
日三試合舉行、別項の如き  
白熱戦を演じ磐中對平商、  
平鐵對磐炭の二試合は遂に  
引分け、入山對平俱は入山  
大勝して準決勝に進むこと  
になった。

## 磐中對平商

12對12引分け  
第一戦、磐中對平商の番外  
試合は午前八時五十分渡邊  
磯貝、水竹三氏の審判、磐  
中先攻で開始十二對十二で  
引分けとなる、閉戦十一時  
20分 2000800/12  
平 4/03/30/12  
バッテリー 磐中 中島(國)  
井)水野 △平商 千葉、  
渡邊

## 入山大勝す

第二試合、入山對平俱は午  
後零時十五分小野、酒井、  
打も二死となり敗色濃厚な  
最終回鐵道一死後田中の長  
ころ多大の共鳴を呼び総額  
二十六圓十錢に達した、な

## 戦機三轉の好試合

### 技倆伯中の磐炭對平鐵

#### 來る十七日再試合

事實上の決勝戦と目されな  
つたが平凡な三齣を惡投  
た平鐵對磐炭は二時三十分  
して田中ホームイン同點と  
三分審判石坂、水竹、熊  
阿部四氏、鐵道先攻で開  
磯貝長打を放つて戦局三度  
逆轉かと思えたが後續打者  
振はず結局七對七同點のま  
で、閉戦五時十分。

## 平小鐵道問題の経過について

又縣の方針は小名濱商港  
は縣が何百萬圓の巨費を  
投じて築造したので其結  
果が有力視するに至らな  
る、小名濱商港に利用さ  
る、鐵道ならば同意する  
が、片道ならばは商港  
に利用する、價值を没却  
する、縣は如何なること  
あつても同意は出来ぬと  
前伊藤知事が言明されて  
居つた、現君島知事は如  
何なる御意見を懐いて居  
るかは不明であるが、土  
木課の意見は變はる事は  
ないと思ふ。

## 刑務所を脱送した犯人が捕はる迄

### 郵便局から足がつく

(警報)平刑務所を脱走した岡村で捕はれた旨通知があ  
る窃盗犯人鈴木伊助(三七)草つたので平署から菊地刑事  
野儀(三〇)の二名は平署等出張身柄を取り取り平署に  
必死の捜索網をくすり掛け留置した。平署で取調べた  
茨城縣に逃れたが遂に九日處兩名は逃走の途中内郷村  
午前十一時鈴木が先づ茨城字白水高橋學方で既報の如  
縣高裁署の手に捕はられ、洋服二着現金三十圓、貯  
午後三時頃草野も多賀郡松金通帳を窃取し兩名共洋服  
線の副産物!七日夜三時頃兩巡査が警戒してゐると白

## 非常線の副産物

### 老を嘆く大賊

嘗ては米俵二俵を擔いだ  
前科十四犯の米泥棒

## 犯人兩名

### 今日日中送檢

米二斗を背負つた老人が通  
るので調べた處土藏の合鍵  
多數持つてゐるので平署に  
引致調べた處、この男は米  
専門の大賊前科十四犯新瀨  
引致調べた處、この男は米  
専門の大賊前科十四犯新瀨  
引致調べた處、この男は米  
専門の大賊前科十四犯新瀨

## 世界館で

### 軍事映畫週間

市内世界館では十四日から  
二十日迄一週間軍事映畫  
週間とし應召軍人家族二百  
名を招待する。

## 百圓獻金 遍照燈湯

本支部員二十四名は百圓を  
醸出し陸海軍兵部に寄附  
した。

## 振興委員會

湯本町振興委員會は十三日午前  
九時から開き國民精神總動  
員運動について協議する。

## 内縁の妻

自殺未遂  
市内研町材木商清野忠雄内  
妻小川キヨ(三二)は十日午  
後七時頃ベットの三個を煮出  
して服用自殺を計つたが生  
命に別條がない。原因は夫  
婦の折合ひが悪かつた矢先  
同日晝頃夫宛に女からの  
手紙が届いたので嫉妬の餘  
り面當て自殺を計つたもの  
である。

